

# 日本臨床高気圧酸素・潜水医学会雑誌投稿規定

## 1. 投稿の資格

共著者を含め本学会会員に限る。

ただし、編集委員会が必要と認めた場合には、会員以外にも投稿を依頼し、あるいは共著者として認めることがある。

## 2. 論文の種類

投稿論文は、高気圧酸素・潜水医学の進歩に寄与する内容で、独創性のある最新の研究などとし、他紙に発表されたことのないものに限る。

投稿原稿は、原則として、写真・図表・文献を含めて、総説はA4判400字詰め横書き原稿用紙30枚以内、原著論文も30枚以内、症例報告は15枚以内、短報は8枚以内、資料は10枚以内、その他とする。

投稿論文は本投稿規定に従い、和文または英文で記したものとする。

### 1) 表紙について

投稿原稿の表紙の上半分に論文の種類（総説、原著、症例報告などの別）、表題、著者名、所属機関名および所在地（これらには英文を付記すること）、下半分には本文・抄録・図・表などの枚数、編集者への希望事項、連絡先住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス、ヒト・動物に関する実験では「ヘルシンキ宣言」にのっとっているかを明記する。併せて、倫理委員会等の審査を受けている場合は、審査結果の文書を添付すること。

表題が長い場合は、短縮表題（ランニングヘッド）を付記すること。和文では30字以内、英文ではスペースを含めて40字以内とする。

### 2) 抄録について

和文原稿には英文抄録（300語以内）、英文原稿には和文要旨（400字以内）を付けること。

日本語と英語でそれぞれ5つ以内のキーワード、Key wordsを付けること。この抄録は、論文の冒頭に掲げるので、論文の内容を十分理解できるような表現に留意すること。

### 3) 原稿について

本文は原則として緒言、材料・方法、結果、考察（結論）、文献の順とする。

### 4) 文体と用語について

和文原稿の場合は、原則として常用漢字、新かなづかいとし、外国語・外国固有名詞・化学物質名・特殊な術語などは、原綴でタイプすること。

外来語・動植物名などは片かな、数字はアラビヤ数字として、単位は原則として国際単位系に従うこと。ただし、圧力単位には、気圧には主としてMPa表記とするが、KPaでも

可とする。あるいは、atm, abs を用い、分圧には Torr を用いてもよい。

英文の原稿の場合は、原則として native speaker の校閲を経たものとする。

### 5) 図表について

図表の説明は、表題を含めてすべて英文とする。

〈例〉 Fig. 1 Relationship between the-

Table 1 The changes of -

図表は1枚挿入ごとに本文から400字減ずるものとする。

本文中に図表の挿入個所を明示すること。

### 6) 引用文献について

引用文献は、本文中の引用箇所に肩番号<sup>1) 2)</sup>を付け、引用順に記載する。書き方は、下記を参照すること。

**雑誌の場合**：全著者名（西暦年）：表題、雑誌公称略名、巻数：始頁－終頁。

**単行本の場合**：全著者名（西暦年）：表題、編者名（編）、書籍名、発行所、発行所代表所在地、必要なら国名、引用文献の始頁－終頁、または引用部分の始頁－終頁。

〈例〉

- 1) 毛利元彦, 川西奈緒美, 設楽文朗, 檜木暢雄, 他谷 康, 山口仁士, 岡本峰雄 (1996) : 飽和潜水減圧中に発症したI型減圧症の1例, 日高圧医誌 31, 139-143.
- 2) Yamaguchi H, Shidara F, Naraki N and Mohri M (1995) : Maximum sustained fin-kick thrust in underwater swimming, Undersea Hyperbaric Med 22, 241-248.
- 3) 毛利元彦 (1992) : 高圧環境, 日本生気象学会編, 朝倉書店 (東京), pp204-205.
- 4) Lin YC, Shidara F, Taya Y, Mizushima Y and Mohri M (1994) : Interspecies conversion of tables for decompression from 300 MSW (UDT300) . Bennett PB and Marquis RE (eds) , In : Basic and Applied High Pressure Biology, University of Rochester Press, (Rochester, New York) , pp341-352.

## 3. 論文の採否について

投稿原稿の採否、掲載の形態、掲載順は、雑誌編集委員会が決定する。採否の審査については査読制を採用する。

## 4. 倫理規定の遵守

生物(ヒトおよび動物)を対象とした研究は、ヘルシンキ宣言「1964, 1975, 1983, 1989, 1996, 2000, 2002, 2004, 2008, 2013年改訂(資料別添)」に述べられている科学的、倫理的規範を満たしている必要がある。同意を得ることが出来る被験者には、あらかじめ研究内容について十分説明を行い、必ず自由意志に基づく同意を得なければならない。同意を得られない小児や障害者の場合、あるいは研究の都合で同意を得ないで実施しなければな

らない場合には、 しかるべき機関の倫理委員会における同意文書の提出が必要である。

動物実験では、 動物愛護、 福祉の立場から、 適切な実験計画を立て、 全実験計画を通じて苦しみや痛みを与えないように配慮しなければならない。

以上の遵守項目については、 いずれも論文の研究方法の項で明記しなければならない。

## 5. 校 正

初校のみ著者が行う。

再校以後は、 編集委員会に一任のこと。

## 6. 投稿原稿の帰属について

本誌掲載原稿は、 著作者自身以外が印刷版面を利用して複写、 複製して領布すること、 翻訳等により 2 次的著作物を作成し領布すること、 第 3 者に対して転載を許諾する権利は本学会の編集委員会に帰属する。ただし、 著作者自身の権利を制限するものではない。

## 7. 原稿の送付

投稿原稿は、 本文、 図表、 和文・英文抄録などすべてを含めた正本 1 部コピー 2 部ならびにフロッピーディスクまたは CD-R を添えて下記あて簡易書留で郵送する。または、 E-mail にて下記あて送付すること、 その際、 本文はじめ図表などはワード、 ウィンドウズのパワーポイントを使用すること。この際も、 間違いを防ぐためにフロッピーディスクまたは CD-R を下記あてに郵送すること。

送付先

〒164-0001 東京都中野区中野 2-2-3

株式会社へるす出版

日本臨床高気圧酸素・潜水医学会雑誌編集委員会 宛

電話：03-3384-8177 FAX：03-5342-4326

E-mail：jachod\_ed@herusu-shuppan.co.jp

## 8. 掲載料と別刷料

投稿原稿の掲載料は当分の間、 学会が負担する。ただし、 図表の製版代、 超過頁分の印刷費、 カラー図表の掲載費など投稿規定以外の投稿原稿に関しては著者負担とする。

別刷は、 著者校正時に注文とする。

別刷はすべて有料とし、 料金は別途定める。

## 9. 投稿規定の改定

投稿規定は、 編集委員会の議を経て改正することができる。

## 附 則

本投稿規定は、2004年8月8日より施行する。